

防災推進国民大会2019への参加

ハイレベルセッション「南海トラフ巨大地震へのソナエ」開催！



産学官民の連携により、南海トラフ地震から日本の経済と産業、地域社会と住民を守ることを目的に、内閣府と共催でハイレベルセッション「南海トラフ巨大地震へのソナエ」を開催しました。

日時: 令和元年10月20日(日) 10:00~11:30

会場: 名古屋コンベンションホール3階 メインホールA (名古屋市中村区)

主催: 内閣府/南海トラフ地震対策中部圏戦略会議(事務局: 中部地方整備局)

参加者: 約230名

内容: パネルディスカッション

テーマ①「南海トラフ地震に対し、日本の経済と産業を守る」

テーマ②「多様な主体の連携により、住民と地域社会を守る」



コーディネーター
名古屋大学減災連携研究センター長
福和 伸夫 氏



パネリスト (テーマ①)
プラザー工業株式会社
代表取締役社長
佐々木 一郎 氏



パネリスト (テーマ①)
中部経済産業局
局長
高橋 淳 氏



パネリスト (テーマ①)
一般社団法人
中部経済連合会専務理事
小川 正樹 氏



パネリスト (テーマ①)
中部地方整備局
局長
勢田 昌功 氏



満員の会場



パネリスト (テーマ②)
内閣府(防災)参事官
(普及啓発・連携担当)
中尾 晃史 氏



パネリスト (テーマ②)
全国災害ボランティア支援
団体ネットワーク事務局長
明城 徹也 氏



パネリスト (テーマ②)
一般社団法人
日本損害保険協会常務理事
伊東 祐次 氏

◎パネルディスカッション まとめ

- ・中部の製造業の状況、企業の巨大地震対策
 - ・中小企業の防災・減災対策支援 (BCP認定制度等)
 - ・国土強靱化に資する税制の整備、社会インフラ整備の加速に関する提言
 - ・河川・道路・港湾等の防災・減災に対する取り組み
 - ・南海トラフ地震の新しいガイドライン策定と防災対応検討
 - ・行政・NPO・ボランティア等の三者連携による体制の強化
 - ・地震保険の仕組み及び加入促進に向けた取り組み
- 各主体が連携し、支援・受援を組み合わせた体制が必要